

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		チャレンジスポーツ教室				所管	教育委員会 スポーツ振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	63	計画事業名	チャレンジスポーツ教室		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 12 誰もがスポーツに親しむ機会の提供					[事業開始]	平成30年度	
							[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕			なし			
	事業対象	直接の対象 : 区内在住 3~12歳 発達期を迎えた幼児・児童 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	遊びの中に運動基礎動作を盛り込んだスポーツ教室を開催し、子供たちのスポーツに対する「苦手意識」を克服させる。							
	事業内容 [H30年度]	年代が上がるにつれ二極化傾向が強まる子供のスポーツをする・しないへの対策として、運動嫌いの子供たちが継続してスポーツを始めるきっかけとなるよう、ゲーム感覚で楽しめるスポーツ教室を開催する。 ・開催日:平成30年10月8日(体育の日) ・会場:台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場							
委託の有無	全部委託	委託内容		・会場設営・撤去及び運営等委託 ・教室実施に伴うアスリートキャスティング及び競技体験教室等実施委託					
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	開催回数	回	1	-	-	1	-	-
	成果指標	参加者数	人	200	-	-	120	-	-
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)							810
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)							882
		その他のコスト(扶助費・補助費など)							810
		総経費							0
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)							1,692
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)							0		
一般財源(区負担額)							340		
課題及び今後の進め方	予想を上回る参加者があった場合でも、安全・安心に教室が運営できるよう、さらなる工夫が必要である。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	幼児・児童期のうちに効果的な運動遊びで基礎動作を身に付けることは重要である。そのため、運動への苦手意識を取り払うきっかけとなる本事業の必要性は高い。						
	効率性	3	体育の日記念行事と同日に開催することで、多数の参加者が見込める。						
	手段の適切性	3	発達段階に応じたスポーツの指導には専門的な知識が必要となることから、教室運営にあたっては、外部への委託が適切である。						
目的達成度	4	参加者数は予想を上回っており、多くの幼児・児童に対し、身体を動かすことの楽しさを提供できた。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	
予想を上回る参加者があり、区民のニーズは非常に高い。生涯スポーツ社会の実現に向けて、子供のスポーツに対する意識の向上につながる本事業を引き続き実施していく。また、令和元年度も多くの幼児・児童が来場する体育の日記念行事と同日の開催とする。						維持			